

令和7年度 第1回 韮崎市国民健康保険韮崎市立病院運営協議会 会議録（要旨）

【会議の概要】

1. 会議の名称	令和7年度 第1回 韮崎市国民健康保険韮崎市立病院運営協議会
2. 日時	令和8年2月24日（火） 午後6時00分～午後7時50分
3. 場所	韮崎市立病院 診療棟3階会議室
4. 議題	(1) 議事録署名人の指名 (2) 公立病院改革の流れと経営強化プラン（報告） (3) 当院の現状と取り組み（報告） (4) その他
5. 出席委員	千野公久委員、水川勉委員、山本幸子委員、樋口悦子委員、塚田浩委員、望月利人委員、宮方晴美委員、梶形昭平委員、清水昭二委員、石岡雄二郎委員
6. 会議の公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
7. 傍聴人の数	2人
8. 出席職員	井上院長、池田副院長、古屋看護局長、進藤放射線科技師長、山本薬局長、古屋リハビリテーション科技師長、上田臨床検査科副技師長、斎藤事務局長、小倉医事担当リーダー、古屋総務担当

【協議内容等】

発言者	内容（要旨）
司会	【開会】 欠席委員を報告。
司会	【委嘱状交付】 机上天にて委嘱状を交付し、任期が2年の旨を説明。あて職委員については新年度に引継ぎを依頼。
司会	【会長・副会長の選出】 会長に水川委員、副会長に山本委員を選出。
水川会長	【会長あいさつ】
井上院長	【院長あいさつ】
司会	出席職員の自己紹介ののち、議事の進行を水川会長に依頼。
議長	各委員の自己紹介。 【議事（1）議事録署名委員の指名】 樋口委員と望月委員を指名。
議長	【議事（2）公立病院改革の流れと経営強化プラン（報告）】 事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づき韮崎市立病院経営強化プランの概要と令和6年度決算を説明。本プランの点検・評価についての質問・意見を今後2週間受け付けし、3月中旬を目途に公表することを説明。
議長	説明事項に対し、委員からの質問、意見を求める。
A委員	ここ数年、中北地域、韮崎市周辺にクリニックが増えてきたと思う。一つは通いやすいということ。あとは長年診ていただいているということ、つまりお医者さんが変わらない。一番は会計が早い。仮に、胃カメラを撮りたいといった場合に、病院に来てすぐ胃カメラをしていただけるかわからないが、

	<p>蕪崎市内ではすぐに胃カメラをやってくれるという病院もあるそうだ。一つはクリニックが増えてきた現状、スピーディーに処理されること、そういうところである。色々な所を選べるような環境が現在ある。市立病院の特化しているところは、それはまた違うが、そういう現状があるということは自分では考えている。</p>
議長	<p>今の A 委員の意見に対して事務局から何かあるか。A 委員においては、各所属に係る質問の回答は後日でもよいか。</p>
A 委員	<p>答えというより、現状がそうなのかなど。そういう現状の中で、今後どういう風に僕らが一緒に口を出せるのかなというところで発言させてもらった。</p>
B 委員	<p>今の資料と第二の資料も見て、意見をということだが、何から一つ一つ解決していくかというのが、よくわかりにくい。市立病院について家族等に聞いてみたが、行っても暗い雰囲気が多いとか、病室の中の状態とか、機械式ではなく今もお一人お一人呼び出しでのお会計である。機械式にしないのはスペースがないからなのか。看護師の働き方ということだが、託児所や、病院の近くに看護師のアパートがあれば働きやすいと思う。</p>
議長	<p>今院内託児はあるのか。</p>
A 職員	<p>夜間保育はあるが、日中の保育はない。病児病後児保育は条件により利用できる。基本的に蕪崎市や北杜市の職員が多いので、宿舎は利用率が低いかもしれない。夜間だけではなく、院内保育があると働きやすさに繋がることはあると思う。今は高齢者の介護をしている職員もいるので、働きやすい環境という意味では、勤務時間の調整などが必要になってくるかもしれない。</p>
C 委員	<p>医療収益を上げるにはいらぬ検査をすれば収益は上がる。過剰な検査をしていけば収益は間違いなく上がる。でもそれは当然しない。私の持論は、赤字幅は出ない方がいいが、公立病院の役目は、黒字経営ばかりを追求したら 100 年後でも多分黒字にはならない。経費削減は必要だが、公費を入れて補填するというやり方しかないと思う。圧縮はしなければ駄目だが、黒字経営など 100 年経っても全国を見てもない。税金を投入して維持するというのが悪になっている。公共事業という捉え方をすれば、公費を投入する、それは市民の QOL を上げる。それは必要なことだと思う。赤字を補填するのが悪ではなくて、縮小するのは当然、できることは今でもやっている。中身をきちっとすれば良い。皆さん努力している。私は、赤字幅を公費投入で埋めるのは全然仕方ないと思っている。それが公立病院、公共事業と同じ考え方であると思う。</p>
D 委員	<p>看護師の募集ということで資料にチラシが入っていたが、私もついこの間までこの市立病院に 1 か月半ほど入院していたので、看護師の働き方の実情はよく見てきた。非常に忙しい。本庁の方で、正規の公務員と会計年度任用職員を雇用して、まったく同じ仕事ではないが、補助してもらっているという形をとっている。看護師が全てのことをやるというのは無理である。市立病</p>

	院の方でも、会計年度任用職員をもう少し増やして、看護師の忙しさの部分を少しでもカバーできるように、そんなことも一つの方法だと思うので、ご検討いただきたい。
C 委員	看護師は足りないのか。
A 職員	足りていない。
C 委員	自分たちが目指しているところを 100 とすると、大雑把に何割くらいか。足りない足りないと言っても、何が足りないのかわからない。
A 職員	休床している病床まで運用しようとする、きちんと計算しなければ分からないが、感覚としては3割程度足りない。看護師の数が不足しているなか最大限受け入れられるであろう病床数を計算して今の病床になっている。夜勤の人数、日勤の人数をあわせて計算している。看護の体制があるので、診療報酬の中で、このくらいの人数を確保しなさいと言われていた人数があるが、その人数に合わせて計算をすると、かなり縮小しなければやっていけないという現状がある。ぎりぎりのところでやるが、患者数を減らした分だけ、重症の患者さんが集まってくる部分があるので、看護師がより忙しくなっている。患者数だけの話ではなく、重症度や年齢もある。また、働いている看護師も少しずつ高齢化が進んでおり、若い看護師を集めなければいけないので、今新卒の看護師や若い看護師の募集を行っている。
C 委員	5人看護師がいれば、もう少し入院患者を受け入れられるということか。
A 職員	あと5人いれば、もう少し受け入れられる。
C 委員	そうすると収益も上がる。人件費も上がるが、何歳から看護学校へ行くのか、2年行くのか4年行くのかわからないが、そこのリクルートをしなないと。医者は地域に残ると面倒を見てくれるではないか。看護師を目指す、家庭的な事情でお金がないという人に、公費で支援する。学んだらここに来るという方法が一番考えられる。500万円に来てくれないということは、よそは余程いいんだと思う。高校生を市として養成するしかない。それはもっと大きな問題で、私達が解決できることではないが、そうしないと、ずっと減っていく。
A 職員	今は看護学校に行く人も減ってきている。
C 委員	そこにお金を、授業料でも、公費で支援して行ってもらおうという形にするしかない。そうしなければ、ずっとこの問題は解決しない。
A 職員	奨学金制度があるので、使っていただいている方は必ず就職してくれるというのは確かにある。そこを活用していく。看護学校訪問時に奨学金制度を紹介している。
C 委員	今までの奨学金制度で集まらないのだから、大きなお金を投入するしかない。それは病院が市に言って議会でやってもらおう。待っていても来ない。それは先行投資だから必ず返ってくる。どこの病院でも看護師がいないとずっと言っている。看護師の取り合いである。取り合いになったら、ここは蕪崎市で、

	甲府市の人にはかなわない。奨学金ではなく、給付金として出して、学んでもらう。その代わりに5年間いてください、いなかったら返してください、そのくらい大きな投資をしないと、補充は難しい。そういう時代にきてしまっていると、話を聞いて思った。
議長	病床利用率を上げることは、看護師がいないとできない。
A 職員	上げたくても、看護師がいないとできない。
C 委員	公費でもってやるのでもいいと思う。市の職員として研修に行くのと同じ考えである。職員は採用して研修に行くが、この研修の場が学校である。そうしないと、根本の収益などの問題すら話し合えない。
議長	他になければ次に移る。 【議事（3）当院の現状と取り組み（報告）】事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づき説明。
議長	説明事項に対し、委員からの質問、意見を求める。
A 委員	回復期について。この病院の PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）の人数はどういうものか。
B 職員	言語聴覚士は在籍していない。最近、肩・肘・手の外科センターを開業したことにより、作業療法士が足りないという印象はある。それに合わせて、外来に関してはまだまだニーズがあるので、理学療法士や作業療法士が増えることにより、収入の増加の可能性はあると感じている。
A 委員	OT が少ないという話だが、ここに来て良かったということ聞いたことがある。そういう方の声を、痛かった膝が痛くなくなったとか、できなかったことができるようになってきたとおっしゃっているのを聞いて、現状をお聞きした。以上である。
議長	他になければ次に移る。 【（4）その他】委員に議事以外の意見等を求める。
各委員	特になし。
議長	事務局に連絡事項等を求める。
事務局	特になし。
議長	通知の中に、3月にもう一度会議を行うと書いてあったが、できれば7年度の決算見込みがでた時期に、他市公立病院の決算状況も出てくると思うので、それらの新しい資料が出たときに次の会議をしてほしいと思うが、委員の皆さんはいかがか。
C 委員	賛成意見である。だが、協議する内容を絞り込んで、ここを考えて来てほしい等と言ってもらいたい。そうしないと広すぎて、何を話したら良いかわからない。こういう議題でやるので、考えて質問や答えを持ってきてほしいと絞り込めば、もっと議論が活発になると思う。
議長	では資料が整ったところで開催するという事。この決算見込みが出るのはいつ頃になるか。

事務局	6月頃になる。夏前くらいに。
議長	最新の資料があった方が話はしやすいと思うので、少し時間をいただいて次の会議を行うこととする。議事は全て終了したため、議長の座をおりる。
D 委員	前後して申し訳ない。次回が新年度になるのはよい。持続可能な病院な病院とは何かという、テーマを出していただいたので、どれをやっていくかということ、できれば今回はこれを重点的にやろうという風に絞っていただいた方が、意見が出やすいと思う。
議長	C 委員から言われたように、ある程度しっかり絞って討論しやすいように依頼する。
司会	【その他】全体のその他について、委員に意見等を求める。
A 委員	病院内に、利用者の声というものはあるか。
司会	ふれあい箱というものがある。利用者の声を書いてもらい、取りまとめて院内の全体会議にあげている。取り組み状況については、住所・氏名等が記載してあるものはご本人に回答している。匿名の方には、院内の掲示板に回答を掲示している。
A 委員	ではフィードバックをしているということだ。承知した。
司会	事務局から看護師募集について、チラシに基づき令和9年採用の看護師募集の説明および新卒以外の募集についても案内。
C 委員	県外の高校生にリクルートし、先ほどの費用を負担するのはどうか。技術がついたら他へ行ってしまふかもしれないが、それも承知で。県内ではパイの奪い合いでしかない。住むところさえあれば蕪崎は非常に環境としては良い。県内ばかり絞り込まずに、範囲を広げてみるのも一つの手かと思った。
A 職員	新卒者でなくても、県外に出ていて戻ってきた方も何人かいる。潜在看護師が復職するのに不安があるということも聞いているので、ゆっくり復職していただくことも可能である。周りで潜在看護師がいたらお声がけ願う。
司会	次回は夏前に開催させていただく。経営改善については、今年から経営コンサル会社を入れて取り組みを始めている。そのことも踏まえながら情報提供をしていきたいと考えている。
山本副会長	【閉会】閉会のことば